

ライチ便り No. 40

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2018年11月号～

<http://lychee-club.jp/>

今回は今年最後のライチ便りを送ります。光陰矢の如し、あと一月で今年も終わりですね。設立10周年記念年の今年はかなり充実した活動を行いました。来年からどのような取り組みをしていくか…、会員各位の新しいアイデアをお寄せいただきたいと思います。時代の大きなうねりの中にあっては微小な友好活動ですが、それでも継続は力です。福岡広州友好都市の絆を市民サイドから強めていきましょう。

来福中の広州大学学生6人と交流しました

大野城市にある春暉国際学院が毎年広州大学の学生を受け入れて日本語・日本文化の研修をさせているという情報を得て、早速ライチ倶楽部として交流のお手伝いをさせていただくことにしました。今回計画したのは：一つは会員有志のお宅にホームビジット、もう一つは福岡と中国の歴史探訪バスハイクです。

今回来福した学生6人を、大牟田線沿線の3つの家庭に訪問させていただきました。そのうちの一人、林美佐子さんが受け入れの体験を書いてくださいました。

広州の学生を我が家に招いて



林 美佐子

この9月、広州大学の学生3名を八女の我が家に迎えました。7月のライチ狩り旅行の際にホームビジットの話聞き、何故か受け入れを即決してしまい、そんな自分に何故？とびっくりです。毎回広州市を訪問するたびに手厚いおもてなしを受けて恐縮し、何か自分にできることはないかと思っていたところでした。

勢いで受諾したものの家族は会話や交流ができるだろうか、一抹の不安を覚えていましたが、すぐにその日はやってきました。9月15日晴天でした。

花畑駅で彼女達を待つ私は少々緊張気味。初対面の人をうまく見付けられるか心配しながら待っていると、意外にも下車してくる彼女達を見てすぐに判りました。少しはにかみながらも若い彼女たちは元気いっぱい、八女

の自宅へ向かう車中で自己紹介です。蘇珏瑤・黄晓彤・陳詩敏の三人は皆広州大学日本語科の4年生で、広州市生まれの都会育ちです。八女の景色を見て「山々がきれい、人が少ない、田舎が好きだ」と言います。

昼食は一緒に手作りしました。「手巻き寿司と そうめんの汁物」材料を揃え調理します。彼女達は卵焼きに挑戦し出来栄に歓声をあげていました。私は彼女達の手際の良さに感服、来日して一週間なのに流暢な日本語にも驚きです。主人も会話を楽しんでいました。その後八女の街並みを眺め、和紙作り、すすり茶等を体験して喜んでくれました。

今回のホームビジット交流を通して感じたことは、彼女達は自分の将来のビジョンが明確であること、何事にも積極的で集中力がありハングリー精神が逞しいということです。日本の学生は、温室育ちでのんびりと構えているように思えるのですが、広州の彼女達を見て日本の未来に危機感を感じました。日本の学生は大丈夫だろうか、隣国に負けないように知徳をえてほしいものです。

広州大学の学生と行く福岡と中国の深くて長い歴史ツアー

9月17日には、昨年まで福岡市上海事務所所長を務めておられた奥田聖理事の企画で歴史探訪バスハイクを行いました。

まず福岡市博物館で、画面を見ながら奥田理事の名解説で福岡と中国の関係史を再認識。常設展を見たあと、昼食を挟んで午後には元寇防塁跡、元寇神社を見学。舞鶴公園へ移動し、鴻臚館遺跡で遣隋・遣唐使を偲び、その後は博多の街を歩きました。承天寺・謝国明の墓・東長寺と回り、博多伝統工芸館と櫛田神社を見て終了。よく学びよく歩いた一日でした。



広州大学の学生6人の他に当倶楽部の会員や中国に興味をもっている福岡市役所の若い職員さんたちも参加し、学生たちの日本語会話の練習にも大いに役立つ一日となりました。



- * 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
 - * 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円
 - * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。
- 連絡先：y-chiba@lychee-club.jp